

祝 辞

ハイランズ・アンド・アイランズ大学（英国）

学長 Dr. Clive Mulholland

新入生の皆様、ご列席の皆様、来賓の皆様、学校法人東京農業大学理事長、東京農業大学学長並びに教職員の皆様、ここに謹んでご挨拶を申し上げます。

始めに、新入生として新たに重要な人生の幕開けを迎えるこの式典に、御招待いただいたことに感謝申し上げます。また、このたび、東京農業大学の高名な教職員の皆様と再会できたことは、大いなる誇りであります。

東京農業大学は、農業分野と多岐に渡るその関連分野における高い専門性で、世界にその名を知られております。さらに、国際展開と世界中の研究教育機関との共同活動に関しても、極めて高い名声を得ています。

東京農業大学の教職員とその先人たちは、127年に亘り、これらのことを追求し続け、称賛に値する優れた名声を得てきたのです。

私が学長を務めるハイランズ・アンド・アイランズ大学（以下、UHI）は、英国スコットランドの北部に広がるハイランズ・アンド・アイランズ地方で唯一の大学であります。

英国でも特に美しい地域であり、人口は少ないものの、90を超える有人島があります。情報技術を駆使して、地域の学生と研究者をつなぎ、高等教育と研究の新たな機会を提供することで、ハイランズ・アンド・アイランズ地域の経済発展において重要な役割を果たしています。以前は、若者は大学に通うために地元を離れ、戻ってくる者はわずかでした。また、地元の企業に貢献するようなビジネスや技術革新も多くはありませんでした。

UHI の教育や研究の焦点は、地域にとって重要な分野に当てられています。森林科学、水産学、農学、環境科学、地域開発学などです。このことこそ、東京農業大学と共同活動を行う理由でもあります。

ここ2〜3年、東京農業大学と UHI との教職員間での往来を経て、2017年6月の学術交流協定の締結へと至りました。

私自身も、昨年11月に東京農業大学を訪問し、その興味深い研究活動と温かいおもてなしに接する貴重な機会を持ちました。高野学長と全ての教職員の皆様に、改めて御礼申し上げます。

東京農業大学と UHI は、多くの面で異なる特徴を持っています。東京農業大学は長い歴史を持っているのに対し、UHI は新しい大学です。また、東京農業大学は世界有数の大都市である東京の中心に最大のキャンパスを持っているのに対し、UHI は人口5万人程度の小さなインヴァネスという都市に最大のキャンパスを持っています。

しかし同時に、我々は共通点も持っています。距離の離れた複数のキャンパスにまたがって質の高い教育を提供していることです。また、私たちはともに、教室を超えたつながりを持ち、常に外に目を向けた組織であろうとしています。既に述べた学問分野など重要な分野における人材育成は、私たちが存在する地域にとって重要です。私たちは、これらの分野において経済・社会の成長に貢献する、高度な技能を持った人材を輩出しています。また、私たちの研究は、地域だけでなく国全体の産業に、モノとサービス両面で、最新鋭の革新をもたらしています。

このように私たちは共通する社会責任を有しており、私は、東京農業大学と UHI の共同活動が始まったことに、喜びを感じています。このことは、両大学に大いなる利益をもたらすでしょう。

今申し上げたことは、私にとってはとても興味深いことですが、新入生の皆様は「私たちにどのような関係があるのか」と思うことでしょう。

私は申し上げます。あらゆることが、皆様に関係しているのです。

学生は大学の中心にいます。そして、国際化においてもその中心にいます。UHI は、学生に海外での学習の機会を与えるだけでなく、海外から学生を受け入れることによって、学生が大いに学ぶことができることを知っています。

大学教育とは、学ぶということであり、自身の専攻分野内であっても、異なる文化や習慣の中であっても、皆様の想像を広げ、さらなる知識を探究することなのです。

皆様は、人生のこの時点において、何千キロも離れた UHI の学生、さらには世界中の学生と共通点を持っています。それは、皆様が大学生活という心躍る旅を始めようとしていることです。

もちろん、時には困難もあるでしょう。しかし、それは機会に満ち溢れた素晴らしい時でもあるのです。最も大事なことは、それは皆様自身の時間である、ということです。

本日から皆様は、世界を変える手段を手に入れます。仲間の学生と共に学び教員から知識を得て、新しい世界を探究する機会を得ることができるのです。

この機会を利用して、互いに学びあい、技能と知識を体得してください。そして、人に対する思いやりを育んでください。

世界は変化しています。私たちは政治的不安定に加え、様々な問題に直面しています。気候変動は、食料と水の確保が世界共通の重要課題となっていることを意味します。東京農業大学において、皆様は自身の知識と技能を活用して、こうした課題に取り組む機会を得られるのです。このような取り組みは、皆様ひとり一人の大学生活をより充実したものとし、また大学の評価向上に繋がります。そして何より、より良い日本と世界を実現する可能性を持っています。

このような地球規模の変化は、学術面での共同活動と国際化が必要であることを意味します。皆様それぞれが、個人であれチームであれ、海外で学び活動する時を過ごし、世界中を移動することができるのです。

皆様の中から、UHI で研究する機会を得る学生が出ることを望んでおり、またそれが双方向の交流となることを期待しています。

米国の作家、オリバー・ウェンデル・ホームズは、「人間の精神は新しいアイデアや感覚により広がっていき、決して元の大きさに戻ることはない」と述べています。東京農業大学で、皆様の精神は認識の限界を超えて広がっていくでしょう。

最後に、新入生の皆様に私からの助言を送ります。

目の前に機会が訪れた時、それを確実に手にしてください。そして、大学での貴重な時間を最大限に有効活用してください。

様々な方法で、世界を変える機会が皆様に与えられるでしょう。

どの程度変えられるのか。それは、皆様次第です。

皆様の大学生活が実り多いものとなることをお祈りいたします。

ご清聴、ありがとうございました。